

下市町

親子の輝きを支えるふれあいのあるまち・下市

1 基本データ <県記載>

・順位は県内市町村の降順
・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）

増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲40.6% (▲6.2%)	31位	▲17.5% (▲2.1%)	28位	▲23.1% (▲4.1%)	32位
②合計特殊出生率		③有配偶出生率 (15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)			
H20～24年(年率)	順位	対H15～19年(年率)増減		H27年	順位
1.14 (1.29)	33位	▲0.01 (+0.06)		61.0 (74.4)	30位
④出生数(人)	⑤年少人口割合(15歳未満)				
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
17 (8,947)	6.7% (12.0%)	31位	▲0.7ポイント (▲0.7ポイント)		
⑥子育て世代割合(25～44歳)					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
13.2% (20.7%)	32位	▲2.1ポイント (▲3.8ポイント)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 少子化・町の財政難が依然として進行しており、子ども・子育て支援の質・量が不足していること。
- ② 人口減少により、子育て世帯の孤立感・負担感が増加していること。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方(目指していること)

- ① 子どもの幸せを第一に考える
- ② すべての子育て家庭を支援する
- ③ 仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の実現を推進する
- ④ 地域社会全体で子育てを支える
- ⑤ 地域の社会資源を活用する
- ⑥ 教育・保育サービスの量と質を確保する

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 就労などの理由で保護者が昼間家庭に居ない小学生児童に対し、放課後や学校休業中に安心して過ごせる遊び・生活の場を提供(放課後児童健全育成事業)
- ② 生後4ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育てに関する様々な悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握や助言を行う事業を実施(乳児全戸訪問事業)

5 多様な主体による子育て支援の取組

子育て支援センターにおいて就学前の児童やその保護者が交流できる場を提供するとともに、子育てを応援したり、育児不安や子育ての様々な相談を受けながら家庭訪問や子育て支援を実施している。また、高齢者等との多世代交流も実施している。(地域子育て支援拠点事業 下市町社会福祉協議会にて実施)

詳しくは 下市町ホームページ
<https://www.town.shimoichi.lg.jp/>